

●市内の鳥獣被害の現状とその対策は

問 鳥獣による被害は近年増加している。その状況と対策の検討は。

答 イノシシ、ハクビシンなど15件の農作物被害を確認している。防護柵や電気柵等の設置への助成を今後検討していきたい。

●袋井らしい野菜の栽培を奨める考えは

問 市内農家の方が今日まで育ててきた野菜の「在来種」を探し、普及する考えは。

答 地域や農家に伝わる在来種の「にんにく」や「落花生」がある。地元農協とも連携し、「袋井の土地に合いそうな野菜」や「袋井の特産に成りうる野菜」について研究したい。

●県道浜北袋井線から西へ向け道路延長は

問 墓地公園設置構想に関連し、県道浜北袋井線、県道山梨敷地停車場線から西に向け、道路の延長の考えは。

答 地域全体の将来構想など様々な要素を取り入れる中で、道路についても、地元の皆様と協議していきたい。



県道浜北袋井線の川会交差点

請願

「総合運動公園」を緑の基本計画に残す請願書
請願要旨

現在、策定中の緑の基本計画では、村松地区の緑地」とされている。しかし、過去の「緑のマスタープラン」には、「村松総合運動公園40・9ヘクタール」と記載されていた。この経過を踏まえ、東地区では、総合運動公園を核に地域の将来構想を検討している。そこで「総合運動公園もしくは運動公園40・9ヘクタール」を緑の基本計画に残すなど3項目を請願する。

請願結果

「総合運動公園もしくは運動公園40・9ヘクタール」を緑の基本計画に盛り込むことを求める項目は、不採択。
決定した長期計画を変更する場合は、議会や地域住民に十分な説明することなどを求める2項目は、採択。

意見書(要旨)

茶業振興に関する意見書

世界的経済情勢の悪化に加え、生活習慣の変化などにより、緑茶の消費が減少し、市場価格は低迷し続けている。このままでは、茶産地の存続はおろか日本の農業からも埋没するのではないかと懸念している。このことを踏まえ、茶業振興の法律の制定、需要拡大策の実現などを強く求める。

永住外国人への地方参政権付与に関する意見書

政府において永住外国人に対し地方参政権を与える法案が検討されているが、参政権付与については、政府内においても意見が分かれている。よって、拙速な結論を出すことなく、法案を提出・審議する場合には、地方の意見を十分に聴くよう強く求める。

以上、衆・参議員議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、法務大臣あてに提出しました。